

令和 5 年 3 月 25 日

## 令和 4 年度 施設関係者評価報告書

学校法人鷺森学園は教育・保育目標や計画等をはじめとする園運営について自己点検・自己評価を実施し、「令和 4 年度施設関係者評価報告書」を作成し、当園のホームページに公表いたしました。

また「施設関係者評価委員会」を設置し、当園に関連する保護者・卒園生の方々や教育関係者の皆様より当園の幼児教育及び運営に対し、ご意見ご指導を賜りました。頂戴いたしましたご意見につきましては「令和 4 年度施設関係者評価報告書」としてご報告させていただきます。

今後は頂きましたご意見等をさらなる教育・保育に生かし、さらに認定こども園ひのまる幼稚園が向上していけるよう職員一同努力いたします。

関係者の皆様には今後とも尚一層のご支援、ご指導を賜ります様よろしく  
お願いいたします。

学校法人鷺森学園  
認定こども園  
ひのまる幼稚園  
園長 吉藤 克子

# 令和4年度 自己評価・施設関係者評価シート

学校法人鷲森学園

認定こども園ひのまる幼稚園

## 1. 園の教育目標

本園は、「まっすぐに たかく おおきく うつくしく」を教育方針として掲げ、

- ・ 節度ある子を育てよう
- ・ 思いやりのある子を育てよう
- ・ 考える子を育てよう

の3点を保育指針として挙げている。満3歳から就学前までの期間を、子どもたち一人ひとりがこれからの多種多様な社会・文化の中で生きていくための基礎を培っていけるよう手助けを行います。

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

年間指導計画をもとに、教職員がその内容を確認しながら共通理解を図り、一人ひとりの幼児を大切にしたい質の高い保育・教育の実践を目指す。

新型コロナウイルスの感染予防に配慮しながらも、季節の遊びや行事など園児のすこやかな成長を手助けするための活動を取り入れ行う。

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組内容	自己評価	評価
教育保育課程	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 認定こども園の状況を踏まえた教育目標・重点目標の設定</li><li>・ 年間の指導計画や週案の作成</li><li>・ 教員間の協力的な指導状況</li><li>・ 各クラスの運営の成果と課題</li></ul>	本園の保育目標を全職員で共有し、年間の指導計画・週案の作成に力を入れた。週案検討の中で主任等にアドバイスをもらいより良い保育を行うことを目指し、経験のある先輩等から助言をもらった。さらに週の終わりに振り返りを行い次週につなげた。	A
研修 (資質向上 の取組)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 教育の質の向上を図る</li><li>・ 園内研修</li><li>・ 園外研修</li></ul>	Zoom研修に参加し、保育の質を高める努力を行った。研修報告書の作成や報告会により、研修にいけない教員にも内容の周知を図った。コロナ罹患者が増え外部講師を招き研修を受けることができなかった。	B
教育環境整備	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 施設整備の安全、維持管理のための整備</li><li>・ 遊具・用具・図書の本整備</li><li>・ 季節の草花を植える (チューリップ)</li></ul>	毎朝、早番が園庭や園の周りを確認し遊具等危ないところがないか点検した。オゾンで消毒できる機械を購入し、常に清潔で安全な遊具、用具を準備した。春はチューリップ、夏は朝顔のグリーンカーテンと季節の花々を感じられるようにした。	A

評価項目	取組内容	自己評価	評価
食育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食物の栽培 (ゴーヤ・さつまいも)</li> <li>・植物の成長に目を向ける</li> <li>・栄養士から食育指導を受ける</li> <li>・野菜の皮むき・筋とり。</li> </ul>	<p>新潟市の緑のカーテンプロジェクトに参加し年中組がゴーヤの栽培を行った。とれたゴーヤを給食のサラダとして出してもらい栽培から食までの学びをすることができた。</p> <p>毎月の食育指導で各学年が調理前の食材に触れ、自分たちが下処理した給食を食べることで食への関心を高める。</p>	A
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育の理解を深める</li> <li>・該当児に対しての個別の配慮</li> <li>・医療・福祉などの関係機関との連携</li> <li>・家庭との連携</li> <li>・療育施設への見学</li> </ul>	<p>特別支援関係の研修に出席し、特別支援における質の向上を図った。</p> <p>気になる園児に対しては保健師や発達支援相談機関と密に連絡をとり、対応を協議した。</p> <p>他の施設にも通っている園児には、園・保護者・施設の共通認識をもって保育にあたった。</p>	A
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て相談の実施</li> <li>・未就園児親子登園の実施</li> <li>・子育て情報の提供</li> <li>・園や教職員による受入体制状況</li> </ul>	<p>コロナも以前よりは落ち着いてきて、R4年度後半からは、未就園児親子登園の人数が増えてきた。</p> <p>保護者同士の関わりの場を提供できるように、交流を深められるよう援助した。</p>	A
預かり保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の実情や要望による預かり保育の実施</li> <li>・園や教職員による受入体制状況</li> <li>・登降園管理システムによる正確な把握</li> </ul>	<p>年々、土曜保育が必要な園児・保護者が増えてきている。</p> <p>仕事の関係上、延長保育となる園児もあり、職員の勤務時間を細かく細分化して対応した。</p>	A
保健管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルス対応</li> <li>・家庭や医療機関等の連携</li> <li>・日常の健康観察、疾病予防</li> <li>・健康診断</li> <li>・事故等の緊急事態発生時の対応</li> <li>・職員の健康管理</li> </ul>	<p>コロナウイルス感染予防の為、園児・職員の日々の検温、手洗い・うがい、保育室等の換気、園舎・遊具等の消毒を徹底した。</p> <p>学校薬剤師が定期的な検査を行い、園内の衛生管理を行った。</p> <p>昨年課題にあがった園内の事故については今年度は職員間で危険な遊び、行動について周知しほぼなかった。</p> <p>職員の健康診断の継続実施及び、インフルエンザ予防接種の推奨・補助、コロナウイルスワクチン接種の推奨。</p>	A

安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校防災計画等の作成、実施</li> <li>・危機管理マニュアル等の見直し、確認、活用</li> <li>・安全点検、教職員の安全対応能力の向上</li> <li>・園バスの乗降車についての確認の徹底</li> <li>・不適切な保育の防止</li> </ul>	<p>静岡県バス置き去り事故から、バスの乗降車について再度見直しを図った。</p> <p>2人以上での紙によるバス乗車確認表の確認、登降園管理システムによるICTを使った確認、連絡がなく登園していない園児に対する家庭への連絡の徹底。</p> <p>不適切な保育に対しての職員間の共通認識、研修、話し合いをした。</p>	A
保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事における保護者参加</li> <li>・行事における反省や改善</li> <li>・園だより、クラスだよりの発行</li> <li>・登園・降園時</li> </ul>	<p>コロナ禍により行事における保護者参加が難しかった。お誕生会については、保護者参加ができないため、園のHPに誕生会の様子を載せて伝えている。</p> <p>園だより・クラスだよりの発行において、保育状況・園の考えを伝え、保護者と情報共有を図った。</p> <p>登園・降園時において、常に玄関に保育者を配置し、保護者と連絡をとり連携を密にした。</p>	B

#### 4.学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

	理由
A	<p>コロナ禍も3年目に入り、コロナ禍前の行事や園運営はできない状況となっている。その都度、子どもたちにとってより良い方法を考えながら行ってきたが、この状況が今後当たり前となる方向でいろいろ見直しも行った。保護者との連携は十分に取れているが、さらにコロナ禍を踏まえた保護者との連携を考えるためにあえてBの評価とした。</p> <p>今年度は特に安全管理に力をいれ、職員間の連絡と情報共有を密にし行った。来年度もこのまま続けていきたい。</p>

#### ◎「3. 4.」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

#### 5.今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
研修（資質向上の取組）	いろいろな分野の外部講師より研修していただく（救命救急・運動・音楽等）
保護者との連携	コロナ禍にあわせた行事運営、保護者との連携を模索する。

#### 6.施設関係者評価委員会の意見

先生方が保育に対し真摯に向き合い行っているのが、今後もよろしく願いたい。

コロナ禍でここ数年行事を縮小して行っていたが、来年度は親子の遠足など他の保護者との関わりが持てるような行事が復活できれば望ましいと思う。